

16日、マリンポートで「土木フェスタ」

魅力、肌で感じて！

県建設業協会（藤田護会長）と県建設業青年部会（西郷進平会長）が主催する土木フェスタが16日午前10時から、鹿児島市のマリンポートがごしまで開かれる。入場無料。家族連れで楽しめる体験型コーナーなど、盛りだくさんの企画で来場者を迎える。

土木の日（11月18日）にちなんだ毎年恒例のイベント。「どんどん土木がすきになる」をキャッチコピーに、働くクルマ体験ゾーンや土木学びゾーン、子ども遊びゾーンを設け、建設産業の魅力を感じてもらおう。後援は、県土木部、建設業イメーシアップ連



絡協議会（九州地方整備局鹿児島国道事務所、鹿児島港湾・空港整備事務所、鹿児島市、県測量設計関連団体協議会ほか）、鹿児島大学工学部海洋土木工学科、県建設技術センター、県港湾漁港建設協会、県舗装協会、県電設協会、県コンクリート製品協同組合、県建設業協同組合連合会、鹿児島建設新聞など。

開催に向けて5日、青年部会の役員らによるキャラバン隊が鹿児島建設新聞を来訪し写真撮影。イベントの趣旨や内容等をPRした。

主な催しは次の通り。

【働くクルマ体験ゾーン】バックホウ・高所作業車・ICT重機の試乗体験、災害対策車・高機動車・軽装甲車等の展示

【土木学びゾーン】砂防ダム実験、VR体験、レンガアーチ橋模型、歩測距離証明写真入りカレンダー、土のう重さ当てクイズ、ストラックアウト、射的ゲーム

【パフォーマンスゾーン】幼稚園児によるマーチング、ご当地キャラクターショー

【その他】土木×クイズ、スタンプラリー、飲食店による移動販売車

時間は午後3時まで。来場者数は約3000人を見込んでいる。

土木フェスタで

魅力を発信



鹿児島

建機試乗が大人気

11月18日の土木の日になんだ恒例のイベントで、約5500人が来場。人気の重機体験はスタート

県建設業協会(藤田護会長)と県建設業青年部会(西郷進平会長)が主催する土木フェスタが16日、鹿児島市のマリンポートかごしまで開かれた。写真。『どんどん土木がすきになる』をキャッチコピーに、

から長蛇の列ができるなど、会場は家族連れらで終始にぎわった。動く車体展示ゾーンでは、ショベルカーや高所作業車など建設機械の試乗体験に終始長蛇の列。鹿児島市内から訪れた小学1年の新田知央(ちひろ)さんと幼稚園年少の聡祐(そうすけ)くん姉弟は、ショベルカーの体験を終え「楽しかった。またやってみたい」と目を輝かせた。

歩測距離証明写真入りカレンダー作成などを実施。関係企業によるストラックアウトやVR体験なども好評だった。建設業にまつわる問題を中心としたO×クイズでは、ミニショベルカーなどの豪華賞品をかけて子供たちが真剣勝負。このほか、はなぶさ幼稚園児のマーチングや県内各地のゆるキャラの練り歩きなどが会場を盛り上げた。



西郷会長(西郷組)は、「昨年に続きたくさんの方が来場してくれて何より。大人も子どもも楽しんで、土木を身近に感じてもらえたらうれしい」と話した。イベントは、県土木部、建設事業イメーシアップ連絡協議会(九州地方整備局鹿児島国道事務所、鹿児島港湾・空港整備事務所、鹿児島市、県測量設計関連団体協議会ほか)、鹿児島大学工学部海洋土木工学科、県建設技術センター、県港湾漁港建設協会、県舗装協会、県電設協会、県コンクリート製品協同組合、県建設業協同組合連合会、鹿児島建設新聞などが後援した。